

3月補正予算の概要

◎一般会計 5億4848万円

《一般会計補正予算の主なもの》

○国の補正予算

・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業

- 計画策定経費等 800万円
- 定住促進事業（トライアルワーキングステイ事業等） 98万円
- 定住促進事業（あさ暮らし住宅リフォーム補助事業） 1000万円
- 子育て支援事業（子ども医療費助成等） 1530万円
- 子育て支援事業（中学生以下インフルエンザ予防接種料金助成事業） 2479万円
- プレミアム付商品券発行補助事業 4400万円
- ふるさと宿泊助成事業 2000万円
- ふるさと物産販売促進事業 2600万円
- 地域資源活用事業（朝倉市特産品ブランド化事業） 950万円
- インバウンド（訪日外国人旅行）受入環境整備事業 189万円
- あさくらガイド本作成事業 151万円
- 無料Wi-Fi拠点整備助成事業 200万円
- 観光ツアー貸切バス代金助成事業 500万円
- 世界かんがい遺産パンフレット作成補助事業 10万円
- 甘木鉄道安全輸送設備等整備事業負担金 1630万円
- 防火水槽設置事業 766万円
- 杷木中学校特別教室棟増築事業 1億2012万円

- 公共施設等整備基金積立金 1億4349万円
- 国民健康保険特別会計繰出金 2億2686万円
- 生活保護費、障害福祉サービス事業の国県への精算返納金 7418万円
- 秋月小学校校舎耐震補強事業 1億1800万円
- 十文字中学校屋内運動場耐震補強事業 3449万円
- 比良松中学校技術室耐震補強事業 2933万円
- 朝倉東小学校屋内体育館、甘木中学校・杷木中学校武道場天井落下防止対策事業 3687万円
- 公債費繰上償還金 5億8157万円

◎住宅新築資金等貸付特別会計 270万円

◎国民健康保険特別会計 事業勘定 8627万円

◎後期高齢者医療特別会計 △1029万円

◎下水道事業特別会計 △1億7211万円

◎農業集落排水事業特別会計 △1060万円

◎個別排水事業特別会計 △1900万円



舟 木	平 山	養 父	本 園	手 嶋	今 村
良 子	直 伸	芳 樹 (杷木若市)	治 作 (宮野)	功 (堤)	良 (頓田)
(下 瀨) 氏	(下 瀨) 氏	(杷 木 若 市) 氏	(宮 野) 氏	(堤) 氏	(頓 田) 氏

朝倉市固定資産
評価審査委員会委員

次の方々の選任について同意しました。

人事案件

市庁舎整備検討特別委員会 議会検討案を市長に提出

委員会の設置

市議会では平成26年12月定例会において、市庁舎整備検討特別委員会を設置しました。

委員会の目的は、庁舎整備が市民の利便性、防災拠点としての重要性、市の財政状況などを考慮した、最適な施設となるようにするものです。委員会は議長を除く19名で構成され、設置以降、調査・検討を重ねてきました。



調査・検討の経過

現在の本庁舎は昭和48年1月の竣工で老朽化と狭小な面積により行政機能が分散され、行政効率が悪くなっています。さらには、平成26年度に実施した耐震診断では、震度6から7程度の規模の地震で倒壊、または崩壊する危険性があるとの結果でした。

委員会では庁舎整備の検討にあたり、基本的な2点の確認を行いました。



東日本大震災では災害発生時の応急対策や災害復旧のための情報発信拠点としての庁舎の重要性が再認識されており、災害対応においては高い耐震性と安全性を確保した司令塔としての機能も求められます。

委員会では執行部からの提案に対して調査・検討を行いました。耐震補強と大規模改修を行う案については改修後の庁舎の耐用年数が延びるものではなく、いずれは建て替えが必要となり、二重投資となる可能性があります。

また、庁舎を建設し行政機能集中を図る案については、行政効率は格段に向上しますが建設費の試算が約55億円であり、今後は合併優遇措置の削減、基金からの繰り入れや市債発行を余儀なくされるなど、将来の財政運営が危惧されることから再考する必要があります。

議会検討案を市長に提出

現在の本庁機能が分散している状況を踏まえて財政状況を勘案し、建築費や建築面積を抑制した庁舎の建て替えが適切な方法であるとの議会検討案を平成27年2月20日に市長に提出しました。

調査結果の報告

平成27年3月定例会では委員会から調査結果の報告を行うとともに、今後は新秋月郷土館（仮称）の建設や朝倉農業高校跡地活用事業などの大型事業も集中することから、将来の市の財政運営に与える影響は大きく、執行部には細心の事業執行と議会、市民に対して十分な説明を求め、委員会の調査を終了しました。